

医療リベラルアーツ

責任者：口腔顎顔面再建学講座・歯科放射線学分野 小豆嶋 正典教授
口腔生理学講座・佐原資謹教授

第3学年 前期・後期

講義

前期

12.0 時間

後期

6.0 時間

一般目標（講義）

実践力のある調和のとれた歯科医師となるため、医療に必要なコミュニケーションスキルの向上と新しい診療領域での構想力を養う。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月8日（火） 2限	宮 順子 （岩手県国際交流協会）	ユニット1 多文化共生 外国人患者への対応方法を習得する。	1. 多文化共生社会の定義を述べる。 2. 異なる価値観、異文化理解の必要性を述べる。 3. 外国人患者が来た時の対応方法を述べる。
4月15日（火） 2限	薄衣 景子 （北上市国際交流ルーム）	ユニット2 民間主導による国際交流 地域の国際化に関わる人材育成について理解する。	1. 国際的視野を広げる意義を説明できる。 2. 能動的に国際交流・協力、姉妹都市交流に関わる効果を論じる。 3. 企画力のスキルを習得する。 4. コーディネート能力を養い、リーダーシップ能力を高める。
6月10日（火） 2限	齋藤 忠利 （病院長顧問・元盛岡西警察署長）	ユニット3 モンスターペイシエントへの対応 患者とのトラブル防止及び回避方法を習得する。	1. 医療と悪質クレームの関係、およびクレマーの例を述べる。 2. モンスターペイシエントのタイプを列挙する。 3. 診療時に暴力事案が発生した場合の処理要領を述べる。
6月11日（水） 2限	堀江 皓 （岩手大学特任教授）	ユニット4 産学連携による地域産業おこし 産学連携による地域産業おこしについて理解する。	1. 我が国の産学連携の歴史について説明する。 2. 産学連携機関とその役割について説明する。 3. 産学連携の具体的手法と技術移転例について説明する。
6月13日（金） 1限	吉田 亮 （ホテルメトロポリタン副総支配人）	ユニット5 接客とクレーム処理 良好な対人関係を築くため、ホテルサービスを事例として提示し、接客の特性とサービスの満足度、およびクレームの発生メカニズムを習得する。	1. 接客を定義し、その特性を述べる。 2. 事前期待と実績評価の関係を説明する。 3. サービス（接客）の満足度の決定要素を列挙できる。 4. クレーム発生のメカニズムとその原因を分析し、対応策を述べる。 5. 実務上難しい取組と簡単な取組を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
6月18日(水) 2限	守口 憲三 (守口歯科クリニック 院長)	ユニット6 歯科医院におけるコメディカル教育 患者に信頼される歯科医院を構築するために、コメディカルの教育方法を習得する。	1. コメディカル教育の必要性を述べる。 2. コメディカル教育の事例を示し、問題点を列挙する。 3. 教育が難しいスタッフへの対応策を述べる。
6月20日(金) 1限	守口 憲三 (守口歯科クリニック 院長)	ユニット7 訪問歯科診療 歯科医院に通院できない有病者に対応するために、訪問歯科診療の概略を習得する。	1. 訪問歯科診療の歴史を述べる。 2. 有病者における口腔状況の特徴を列挙する。 3. 有病者の訪問歯科診療の際に、配慮しなければならない事項を説明する。
6月25日(水) 2限	阿部 晶子 (予防歯科学)	ユニット8 幹細胞移植患者への口腔ケア 造血細胞移植患者への口腔ケアを理解する。	1. 造血細胞移植時に発症する口腔合併症を列挙する。 2. 口腔合併症への予防法を説明する。 3. 造血移植チームにおける歯科医師の役割を説明する。
1月26日(月) 4限	IDP 担当教員	ユニット9 医学／歯科の基本用語(1) 基礎的な医学/歯科用語を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. 医学／歯科用語の成り立ちと基本構造を述べる。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。
1月28日(水) 4限	DTP 担当教員	ユニット10 医学／歯科の基本用語(2) 基礎的な医学/歯科用語を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. 医学／歯科用語の成り立ちと基本構造を述べる。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。
1月30日(金) 4限	TxAD 担当教員	ユニット11 医学／歯科の基本用語(3) 基礎的な医学/歯科用語を習得する。	1. 医学／歯科分野の基礎的な英語用語を理解できる。 2. 医学／歯科用語の成り立ちと基本構造を述べる。 3. 言葉の持つ意味を深く考える態度を身につける。
2月2日(月) 1限		到達度評価試験	

成績評価方法

1. ユニット1～8までは、各ユニットで提出したレポートで評価する。
2. ユニット9～11までは、到達度評価試験で評価する。
3. 本科目（医療リベラルアーツ）の評価は、前者（レポート）を8/11、後者（到達度評価試験）を3/11の割合で算出し、総合評価点とする。
4. ユニット1～8で欠席した場合、あるいは期日内にレポート提出がない場合は、当該ユニットの評価を0とする。
5. 総合評価で65点未満の学生には、全範囲（ユニット1～11）を対象とする再試験を課す。
6. 欠席数が4コマ以上の学生は、再試験の受験資格を認めない。

オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
小豆嶋正典	B-i	月～金		不在の時は教室員に伝言の上、必要があればアポイントをとること。
佐原資謹	B-i	月～金		時間が空いていればいつでも可。
佐藤和朗	A-i	月～木	18:00～20:00	不在のときは教室員に伝言のこと。
八重柏隆	A-i	月～金	17:00～19:00	不在の時は教室員に伝言し、メモを部屋に入れる。